

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スマイルアシスト幕張本郷		
○保護者評価実施期間	2026年2月10日		～ 2026年3月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	2026年3月9日		～ 2026年3月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動の充実化	自分達で考えるということを目的に外出活動や調理活動を実施している。外出活動では目的地を決めその目的地までどのような電車に乗りいくらか調べるところから行っている。調理活動では限られた予算でどのようなものを作るかをみんなで話し合いを行う機会を設けている。	現時点で土曜日の活動で主に調理や外出活動を実施しているため、今後はどの曜日でも実施できるような体制を作りたい。
2	個別活動の環境	一人一人に椅子と個別活動を行える机が設置しており、それぞれが集中して活動できるようにしている。また、学校の宿題の他にアシストで用意している学習プリントなどもあり、その日やることが明確化されている。	一人一人に合った基礎的な学習プリントは用意しているが、その次の応用的なものが少ないので、ニーズやレベルに合った学習プリントの導入を行っていく。
3	受験支援	主に中学3年生の希望者に向けて受験対策を行っている。過去問を使い各教科の強化や作業の練習を実施して、試験日が近くなれば、面接の練習なども行っている。	中学1年生から受験というものを本人や保護者様に意識してもらえよう、面談時に伝え準備不足にならないよう支援を行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	年数回の保護者会の実施が行えていない	今年1回保護者会を実施したが、1回のみで終わってしまった。定期的な時期の開催ができるよう体制を整えていく	保護者会の中身や参加してもらえるような会場づくり、事前アンケート作りに力を入れ、より沢山の方に参加してもらえるようにしていく。
2	ペアレントトレーニング等家族支援プログラムの充実	ペアトレの研修を受けた職員はいるが、それを実施保護者に対して実施できていないのが現状	体制を整え実施ができるようにしていく
3	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がない	必要が無いと言ってくる親御さんもいるが、学齢に合ったお友達とのコミュニケーションも大事にしていけないといけないと考える。また、障がいへの理解という点でも今後実施を検討していく	利用者の学校などに問い合わせをし、お互いニーズを必要性を感じることが出来れば、実施をしていきたい

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 スマイルアシスト帯張本郷

公表日 2026年3月16日

利用児童数 30人

回収数 26人

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22	2		2		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	25			1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	1		4	①トイレはとても広くて綺麗だった。着替えなども十分できるスペースがあった。	トイレ前にはスロープを置けるようにスペースを確保し、いつでも置けるようにしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22	1		3		全員が心地よいと感じられるように施設内設備の配置場所の変更や清掃の徹底を行っています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24	1		1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	26					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	26					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23			3	①楽しそうな活動を計画してくれていると感じる。	プログラムの関係上、週間で活動を決定しています。なので複数日通っている方は同じ内容と感じてしまうかもしれません。
保 護 者 へ の 説 明 等	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	5	3	10	①交流を必要ないと感じる	放課後児童クラブや児童館との交流はないが、同法人内での関わりは多くあります。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24			1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	4	2	4		職員研修ではペアトレを実施し知識としてはあるが、それを実践が出来てないと感じる。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	26					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	4		1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	26					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	6	3	4		昨年度、初めて保護者会の実施を行った。参加人数が増えるよう告知の方法や参加しやすい日程の設定を行っていく。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	2		1		相談しやすい環境を整え、いつでも対応が出来るように努めています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	24			2		利用時の連絡帳、活動内容の見えるか (Instagram) を行っている。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25	1				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22	1		3		事業所内でのマニュアルの共有はされているが、利用者含め保護者への共有が不足している。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	24			2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23	1		2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22			4		怪我やトラブルなどがあった際には迅速に対応させていただきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	26					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	26				①お友達とお話しをする機会が増えて良かったです。	一人一人に合うような曜日の提案ができるようにしています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	26				①受験に向けての勉強や面接などの指導がわかりました。	これからも満足できるような支援ができるよう努めています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		スマイルアシスト幕張本郷				公表日 2026年3月18日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			スペースは確保されているが、利用者の半数以上が中高生の為、部屋が狭く感じられることがある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		音意外の情報がシャットアウトできるような環境があり、そこでのクールダウンが出来るようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年に1回の保護者向け評価表を真摯に受け止め、反省点を活かしより安全に利用しやすい環境づくりに努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者委員会の設置を検討している
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		社外研修の受講やその研修内容を社内にアウトプットする取り組みを行っている。	
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		個別面談の実施と個別アンケートの実施を行い、個々のニーズに応えられるようにしている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		指導員との情報共有を密にし、支援計画書の作成を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動内容は指導員管理者共に利用者の事を考え立案を行っている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		週でのテーマを決め活動を行っているが、その曜日に合わせてレベルの変更などを行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の支援の記録を取り、それを見返すことにより次の支援につながるよう支援を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		2ヶ月に1回計画書にそってモニタリングを行い、目標の見直しや進捗状況を共有している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		自分達で決めるということをテーマにする活動を用意し、職員が関与し過ぎない活動の提供も行っている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校との情報の共有は密にとり、その子がどう過ごしてきたのかを明確にし、繋がりが途切れないような支援を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		学校卒業後も就労先に様子を見に行き、どう過ごしているかなどを現場の職員と情報の共有をしている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域他のこどもと活動する機会があるか。	○			必要性をもう一度見直し、実施の検討を行っていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			施設内には研修受講者はいるが、そこからの発展がまだない状況。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		悩み事や困りごとに関していつでも話を聞き対応できるような体制を整えている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		今期1回実施した。ボリューム的には多かったが、内容をもっと詰めていき、保護者のニーズに合わせたものにしていく。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取り扱いについてはマニュアルに沿って徹底している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		安全性や必要性を考え検討をしていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPの策定と職員間の共有は行えているが、それを利用者や保護者への共有が出来ていない部分があった。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		てんかんを持っている保護者とはてんかんが起これたらどのような対応を行うかを話し合いを行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーがある児童へのおやつ提供はおやつを持ち込みという形で理解していただいている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事業所で起きたヒヤリハットはグループ内全体で共有し、再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○				